

第 1 号議案：2021 年度 活動計画

2021 年度（2021 年 4 月 1 日 - 2022 年 3 月 31 日）

始めに

2021 年度は、IPA が 2007 年に創設されてから 15 周年の年に当たる。したがって、2021 年度の活動計画には、この記念すべき年を祝う特別な活動が含まれている。コロナ禍の状況においては、ニュースレターの重要性は、以前にも増して高まっている。2020 年度の活動報告に記載されているように、コロナの発生と蔓延により、IPA は、2020 年度に計画した行事のいくつかを実施することができなかった。ICPE2021 を含め、IPA は多くの行事をオンラインで行っていく。延期されたセミナーも再編成されオンラインで行われる。

2021 年度においては、以下の項目に重点を置いた活動を推進する。

1. 国際ネットワーク形成と維持発展
2. 学術研究の進展による社会貢献
3. 人材育成による社会貢献

2021 年度の各活動計画を以下に記す。

1. 国際ネットワークの形成と維持発展

A) IPA ニュースレターの定期配信

IPA は、今後もニュースレターを 3 か月ごとに発行していく。9 月号は、ICPE2021 の特集号とする。また、2022 年 3 月号は、IPA 創設 15 周年記念の特別号となる。2021 年(暦年)に発行する 4 編のニュースレターを集約したハードカバーの合冊版(5 冊目)は、2022 年 3 月に発刊予定。IPA 理事の研究・開発の紹介といった新しい内容を読者のために加えていく。

B) セミナー・シンポジウム・国際会議の継続的な開催

a. 圧入工学セミナー

第 13 回圧入工学セミナーを 2022 年度に日本で開催する準備を進める。

b. 圧入工学に関する国際会議 (ICPE2021)

第 2 回 圧入工学に関する国際会議 (ICPE2021) が 2021 年 6 月 19 日、20 日に開催される。基調講演 2 編、現状報告、約 60 の論文を含む論文集が発刊される。

C) 他団体との継続的な交流

a. 中国

IPA は、中国におけるネットワークを引き続き強化・拡大する。また、中国で技術委員会 (TC) を立ち上げるため行動する。

b. 日本

2020 年 3 月に発刊した「圧入工法設計・施工指針 -2020 年版-」を普及するため、2021 年度において、全国圧入協会 (JPA) と協同してオンラインセミナーを実施する。また、技術委員会 TC-4 及び TC-5 のワーキンググループ (WG) に JPA 会員企業は引き続き参画する。

c. IPA ネットワーク

各現地事務局 (Regional Office) において、地域副会長及び地域担当会員が、IPA のネットワークを拡大する活動を促進する。このため、総務委員会が各地域副会長から意見を聴取し、その内容をもとに具体的施策を検討する。

2. 学術研究の進展による社会貢献

A) 技術委員会

a. 技術委員会 TC-4

テーマ: 圧入された鋼矢板および回転切削圧入杭の鉛直支持力特性と施工管理方法
活 動:

- ・ 2019 年度より 3 か年計画の研究活動。本年は最終年。
- ・ 2021 年度に、最終報告書を研究委員会へ提出予定。

b. 技術委員会 TC-5

テーマ: オペレーターの技量と経験が圧入工法の施工性に及ぼす影響
活 動:

- ・ 2020 年度より 3 か年計画の研究活動。本年は 2 年目。
- ・ 圧入施工のオペレーターに対して再度アンケート調査を実施予定。

c. 中国での技術委員会

IPA は中国で技術委員会を立ち上げる予定。

d. その他

研究委員会の判断で、新しく技術委員会を立ち上げる場合がある。

B) 圧入工法の世界的な普及活動

a. Press-in Handbook (圧入ハンドブック) の多言語化

圧入ハンドブックのフランス語、ロシア語、ポルトガル語への翻訳とともに、タイ語、ベトナム語を含む多言語への翻訳を進める。

b. Case history volume -2 (圧入工法適用事例集)

圧入工法の現場適用事例を掲載する Case history volume -2 の発刊に向けて準備を始める。

c. サイレントバイラーの開発史

サイレントバイラーその他関連機械の開発の歴史をまとめた小冊子を 2021 年度に発刊する。

d. 海外圧入技術セミナー

(a) 中国

新型コロナウイルス感染症の流行を考慮のうえ、他団体・組織および現地 IPA 理事と協議し、中国本土および香港でのセミナー・会議等への参画を検討する。

(b) アジア諸国、その他の地域

コロナ禍を考慮し、過去に開催実績のあるアセアン諸国（シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム）での 2 回目のセミナーをオンラインで開催することを検討する。そのため、地域副会長と現地事務局と協力し、開催に向けた準備をすすめる。2019 年度に延期された台湾、インドネシアでのセミナーをオンラインで開催する計画。圧入ハンドブックフランス語版の発刊の見通しが立ったところで、ムニエール・ブッシーダ理事と協議し、アフリカ諸国でのセミナーを検討する。

e. 圧入工法ケーススタディの収集

文献化されたケースヒストリーを収集することは、グローバル市場における圧入工法の認知度と圧入工法によって施工された基礎構造物の優位性の理解度の向上のために必要不可欠である。については、IPA が 3 年間を対象期間とした圧入工法のケーススタディ募集計画を立ち上げる。研究委員会は、文献化されたケースヒストリーで収集されたものを研究し、ケースヒストリーのデータベースを作成する。また、研究委員会は、施工案件の当事者に対して、出版のために技術資料を作成することを促進支援する。

f. 圧入工法仕様書

建設工事の発注にあたっては、その工事に関する工法、施工機械、建材、労務・施工管理、その他が特記仕様書に明記される。圧入工法については、グローバル市場に紹介できる包括的な仕様書が存在しない。IPA は、2021 年度において、必要な情報を収集し、仕様書がカバーすべき必要項目を提示するためのグループを立ち上げる。

C) 表彰制度

表彰委員会では、下記の 4 表彰分野の受賞者を選考する。受賞者は、ICPE2021 にて表彰される。

1. 傑出した建設プロジェクトの表彰 (Outstanding Project Award)
2. 革新的な技術開発に対する表彰 (Innovative Technology Award)
3. 顕著な研究成果に対する表彰 (Distinguished Research Award)
4. 多年にわたる貢献に対する顕彰(Life-long Contribution Award)

また、表彰委員会は、ICPE 組織委員会と協力し、ICPE 最優秀論文の表彰(ICPE

best paper award)の選考を行う。

D) 図書館機能（蔵書）

圧入工学に関連する図書や文書を収集し図書館機能のサービス・機能を引き続き向上させる。近年では、より多くの情報がビデオから得られている。短いビデオのケーススタディを提供することは、人々の注目を得る有効な手段である。IPA 図書館は、ビデオ図書館を加えることにより、その機能をより向上させる。2021年度においては、2018年に長野県でジャイロプレス工法を使用し地すべり復旧工事を行ったビデオ映像を収集する。

3. 人材育成による社会貢献

A) 若手研究者・エンジニアが参画している技術委員会の研究活動を通じた、継続的な研究と教育プログラムの実施

研究委員会または技術委員会が主催するセミナー・シンポジウムに若手技術者・研究者の参加を促進する。

B) 圧入工法に関する技術書・論文などの編集活動への若手研究者・エンジニアの参画

フランス語、ロシア語、ポルトガル語その他の言語の *Press-in retaining structures: a handbook* の編集過程に、若手研究者・技術者の参画を促す。

C) 世界中の若手研究者・エンジニアの教育のための国際ネットワークの構築

圧入工学に関するセミナーの機会を通じ、若手研究者・技術者の交流促進の場を提供する。

D) 実装可能技術のための研究活動を全国圧入協会（JPA）との合同で推進

全国圧入協会（JPA）の実務者が IPA 活動に参画するための有効な方法として、JPA と合同にて技術委員会 TC-4・TC-5 の研究活動を推進する。

終わりに

ワクチンがコロナ感染症に関する現状を改善することを期待する。IPA 理事会は、状況が許すのであれば、2021年度において活動計画を修正する。いずれにせよ、IPA は、会員の安全を重視し、会員のためのサービスを引き続き向上する。また、国際会議、セミナー、シンポジウム、研究活動、出版を通じ、個人及び法人会員の増加に引き続き注力する。

第 2 号議案: 2021 年度予算

予算書 2021年度

(2021.4.1 - 2022.3.31)

(単位: 円)

項 目	2020年度収支	2021年度予算	備 考
事業活動収支			
1 事業活動収入の部			
① 会費収入			
個人正会員年会費	6,930,000	7,000,000	
法人会員年会費	7,000,000	7,100,000	
② 寄付金収入			
寄付金	16,000,000	16,000,000	
③ その他収入			
研究受託費	1,430,550	235,000	技研製作所からの研究受託費
書籍販売	6,187,000	4,500,000	圧入設計・施工指針 2020年版 等
雑収入	2,382	10,000	
事業活動収入計	37,549,932	34,845,000	
2 事業活動支出の部			
① 会議・セミナー関係			
第2回 国際会議 ICPE2021(2021.6 開催予定)	1,002,000	1,000,000	ICPE2021組織委員会への開催補助費用
海外セミナー(Handbook)	0	1,200,000	準備・開催費(台湾、インドネシア、中国を予定)
② 出版関係			
圧入工法設計・施工指針 改訂(2020年版)	0	3,000,000	増刷費
Press-in Handbook(英) 改訂(2020年版)	3,156,518	3,050,000	編集・印刷費
Press-in Handbook(中)	391,000	0	
Press-in Handbook(他)	2,196,824	2,500,000	翻訳・監修(仏語・露語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語)
Case History Volume 2	0	500,000	編集費等
IPA Newsletter	856,350	1,000,000	合冊版 No.5 ※2022年3月発刊予定
サイレントパイラーの歴史	0	600,000	※2022年発刊予定
その他(ICPE2021論文集 他)	364,530	1,200,000	ICPE2021論文集買取費用、その他の出版経費
③ 研究関連			
理事会・運営委員会活動費	24,462	5,100,000	理事会／運営委員会の開催 等
研究委員会(技術委員会)活動費	2,430,550	1,000,000	技術委員会TC1, TC3, TC4, TC5および新規研究活動
表彰関係	0	100,000	表彰盾・賞状 等(3部門)
図書館機能	1,283,676	2,400,000	書籍購入、図書館システムの保守、動画収集(施工事例) 等
その他(調査・他学会参加費)	0	1,300,000	現場取材費、他学会参加費
④ 管理関連			
15周年記念式典	0	1,000,000	開催費
情報システム関連費	4,714,163	2,090,000	ウェブサイト・メールサーバー維持管理費用 等
会員管理	15,400	20,000	会員証発行等
印刷費用(書籍関連除く)	63,692	30,000	学会案内 等(書籍関連除く)
郵送費(国内外)	60,279	500,000	
通信費	96,911	100,000	電話代
理事報酬	10,852,080	10,860,000	
賃借料	3,375,148	3,460,000	事務所家賃・複合機の賃借料 等
契約外注費	1,720,704	1,710,000	税理士報酬 等
支払手数料	277,365	280,000	銀行手数料 等
事務用品費	104,280	150,000	
雑費	208,962	210,000	
事業活動支出計	33,194,894	44,360,000	
事業活動収支差額	4,355,038	(9,515,000)	
前期繰越収支差額	10,138,286	14,493,324	
当期収支差額	4,355,038	(9,515,000)	
次期繰越収支差額	14,493,324	4,978,324	

第 3 号議案：理事及び監事の選任

指名委員会^(註1) は定款 第 4 章 12 条に基づき、以下の 16 名を 2021 年度－2022 年度の理事及び監事として推薦する。※改選、新任の順に掲載。

理事（改選）2021 年度－2022 年度:

氏名	組織	国／地域
Mounir Bouassida	チュニス・エルマナール大学 教授	チュニジア
Michael Doubrovsky	オデッサ国立海事大学 教授	ウクライナ
Marcos Massao Futai	サンパウロ大学 教授	ブラジル
Kenneth Gavin	デルフト工科大学 教授	オランダ
Stuart Haigh	ケンブリッジ大学 リーダー（上級准教授）	イギリス
石原 行博	(株)技研製作所 課長	日本
神田 政幸	(公財) 鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部長	日本
Andrew McNamara	シティー大学ロンドン 上級講師	イギリス
見波 潔	村本建設株式会社 常務執行役員	日本
大谷 順	熊本大学 理事・副学長	日本
竹村 次朗	東京工業大学 准教授	日本
Nor Azizi Bin Yusoff	ツン・フセイン・オン・マレーシア大学 UTHM ホールディング 代表取締役	マレーシア

(英語姓のアルファベット順に掲載)

監事（改選）2021 年度－2022 年度:

氏名	組織	国／地域
藤崎 義久	(株)技研製作所 取締役	日本

理事候補者（新任）2021 年度－2022 年度:

氏名	所属	国／地域
Jignasha Panchal	ケルトブレイ・パイリング社 テクニカルマネージャー	英国
Gulin Yetginer	エクイノール社 リードコンサルタント	トルコ

監事候補者（新任）2021 年度－2022 年度:

氏名	所属	国／地域
Goh Teik Lim	アツニュー・ギケン社 取締役	シンガポール

※上記の新任理事及び監事については、別添資料に略歴を掲載。

注: 指名委員会^(注1) は 付属定款の第 4 項にて規定。

備考: 第 5 号議案は 16 名の一括承認形式です。

コメントがある場合は会員サイトの投票ページにあるコメント欄に記入願います。

理事候補者（新任）1：

氏名: Dr. Jignasha Panchal/
ジグナーシャ／パンチャル
現職: テクニカルマネージャー／ケルトブレイ社（Keltbray Piling）
名誉客員教授／ロンドン大学シティ校

国籍: 英国

学歴

2018 ロンドン大学シティ校
PhD 学位取得（地盤工学）
2015 ロンドン大学シティ校
修士学位取得（土木工学）（第一等優等学位）

研究・受賞等

2018 第一回 圧入工学に関する国際会議（ICPE2018, Kochi）
最優秀論文賞（Best Presentation Award） 受賞
2015 英国土木学会（Institute of Civil Engineering）土木工学学生表彰、
ロンドン大学シティ校

職務経歴

2020 – 現在 テクニカルマネージャー
ケルトブレイ・パイリング社（Keltbray Piling）
2019 – 現在 名誉客員教授
ロンドン大学シティ校
2019 – 現在 アンバサダー
STEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics）
2019 – 現在 プロジェクトマネージャー（HIPER Pile）
ケルトブレイ・パイリング社（Keltbray Piling）
2018 – 2020 イノベーション・システム・エンジニア
ケルトブレイ・パイリング社（Keltbray Piling）
2018 – 現在 エンジニアリングコンサルタント
AJR Consulting Engineers Limited
2015 – 2018 客員講師
ロンドン大学シティ校. パートナー
2015 – 2017 プロジェクトエンジニア
Cementation Skanska
2012 – 2013 エンジニア
2014 – 2017 * Dyer & Butler Limited

*非常勤

理事候補者（新任）2：

氏名: Dr. Gulin Yetginer / グリン・イエトギナー
現職: リードコンサルタント / エクイノール社 (Equinor)
国籍: トルコ

学歴

2020 カリフォルニア大学バークレー校
ハース・スクール・オブ・ビジネス 卒業
(Technology Executive Program)
2018 ハーバード・ビジネススクール卒業
(Better Commercial Decisions)
2003 ケンブリッジ大学工学修士学位 (M. Eng.) 取得
(地盤工学)
2003 ケンブリッジ大学修士学位 (M.A.)取得

職務経歴

2020 - 現在 リードコンサルタント
エクノイール社 (Equinor)
2017 - 2020 リーディング・アドバイザー
エクノイール社 (Equinor)
2012 - 2017 主幹エンジニア (地盤工学)
スタトイル社 (Statoil) ※エクノイール社 (Equinor) の旧称
2008 - 2012 ジオテクニカル・エンジニアリング・マネージャー
RPS Energy
2008 - 2008 ジオテクニカル・パッケージ・マネージャー
RPS Energy
2007 - 2008 ジオテクニカルエンジニア
RPS Energy
2004 - 2007 ジオテクニカルエンジニア
Fugro

監事候補者（新任） 1：

氏名: **Goh Teik Lim**
現職: 取締役
アツニュー・ギケン (Atsunew Giken Pte. Ltd.)
国籍: シンガポール

学歴

2004 シンガポール国立大学
PhD 学位取得（地盤工学）
1987 土木工学士号取得
マラヤ大学（マレーシア）

研究・受賞等

2003 Hulme Prize* 2003 受賞
シンガポールトンネル地下建設学会
*建設分野への優れた功績が認められた研究論文の著者に対する賞

職務経歴

2011 – 現在 取締役
アツニュー・ギケン社
2006 – 2011 ジェネラル・マネージャー
ギケンアジア
2003 – 2006 テクニカル・マネージャー
ギケンアジア
2002 – 2003 シニア・ジオテクニカル・マネージャー
セムコープ E&M (SembCorp E&M)
2000 – 2002 ジオテクニカル・エンジニア
セムコープ E&M (SembCorp E&M)
1996 – 2000 研究技師
シンガポール国立大学
1996 – 2000 設計技師
オブ・アラップ・コンサルタント (Ove-Arup Consultant)
マレーシア

保有資格等

2004 P.E. (技術士) (マレーシア)
2003 P.E. (技術士) (シンガポール)